

えこっち・やす 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

ニュースレター 第37号

令和3年1月発行
えこっち・やす事務局
(野洲市役所 環境課内)

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染再拡大に伴い、一部都府県に2度目の緊急事態宣言が発出されました。滋賀は対象外地域ですが、感染者は増加し医療体制はひっ迫しています。この状況が1日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう、心から願っております。

さて、コロナ禍における活動には制限もありますが、“えこっち・やす”で秋以降に実施した環境活動や今後のイベントをご紹介します。

まちなかの緑づくりプロジェクト

活動主体：
やす緑のひろば、緑の推進委員

野洲川改修で廃川となった北流跡の荒廃していた竹林を、人々の憩いの森、子どもたちが山遊びでき、自然に親しめる森にして、次世代に引き継ぐことを目指しています。

野洲市市三宅地先の旧北流跡の約4haの森

北野小学校 森巡り自然観察会

どんぐりひろばには遊具も設置

出入口への丸太橋設置 子どもたちに人気

子どもたちが自然体験しながら、樹木・生態系などを学ぶ環境学習林もめざしています。

竹伐採・散策路整備

チッパーも活用 竹伐採の効率化

カブトムシの繁殖しやすい環境、竹チップ堆肥や、樹液がでるクヌギ、コナラの実生も育成・保護しています。

7月一森にカブトムシが沢山

ミニ三上山も人気

自然・山部会、事業所など地域団体とも協働

活動 PICKUP 11月14日(土) 自然の森ふれあいイベント

子どもたちに自然の楽しさを体感してもらい、大切にしていける気持ちを育てることを目的に、毎年大好評のイベント。森めぐりやネイチャーゲームの他、竹筒飯盒での竹めしや石焼きいも、残り火でのマシュマロ焼きもあります。炊き上がるまでの時間、子どもたちは竹細工や周囲のぶら下がり遊具、平均台、やぐら、シーソー、竹電話などで楽しんでいました。今回は令和4年春、甲賀市・鹿深夢の森で開催予定の全国植樹祭のPR活動も兼ねており、森づくり活動への関心を高める一環として、森で拾ったどんぐりの種を植えて、名前を書いた杭を打ち込みました。時折訪ねて周囲の草刈りなどしていただけたら最高です。お待ちかねの竹めしはおいしく炊き上がり、みんな完食されました。焼きいもやマシュマロ焼きもおいしいと大好評。自然に親しみ大いに楽しんでいただいた1日でした。

びわ湖を守ろうプロジェクト

私たちの宝、琵琶湖。現在の琵琶湖をきれいだと感じている人は多いでしょう。たしかに遠くから見れば美しい姿をしています。しかし近づいてみてください。とても美しいとは言えません。生き物が棲みにくい状況です。この現状を知ってください。琵琶湖のため、自分のため、行動してください。琵琶湖が、この先もずっと私たちの生活に恵みと安らぎを与えてくれる存在であるよう、私たちはイベントを通して一人ひとりの行動変革を訴えています。



企業 CSR 活動 (ヨシ植え) 支援

琵琶湖の水がきれいになり、たくさんの生き物が棲みやすくなることを願って、小学生・市民・市民団体・企業などがヨシ植えを実施。



ヨシ植え&松林保全イベント

野洲市と琵琶湖のつながり

私たちの身近に流れる川のほとんどは琵琶湖に流れ着きます。あなたのそばを流れる川も全て琵琶湖に流れ着いています。



浜のごみ拾いや流木など障害物の除去、草刈り等、保全活動もしています。中でもごみは大きな問題です。



中主小学校環境学習

つまり河川のごみのほとんどが琵琶湖に漂着しているのです。他人任せにしている琵琶湖を守ることはできません。例えば、ポイ捨てをしないことはもちろん、落ちているごみを拾う。美しい琵琶湖を取り戻すには、1人ひとりのアクションが必要です。みんなで小さくても一歩を踏み出しましょう！

みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト

今年度は11尾のビワマスが上ってきました！

活動 PICKUP

産卵床の造成 (9/29,10/2) & 仮魚道の設置 (10/5)

琵琶湖から遡上したビワマスが産卵できるよう、河川の

粘土層を取り除き、トラックに一杯

の砂利を敷きます。また、中ノ池川にある落差工は魚がどうしても越え

られないため、仮魚道を設置しました。これが想像以上に重労働。すべては琵琶湖の固有種ビワマスのため。市民・市民団体・企業・市・県・

県研究機関が一緒になって汗をかきました。



ビワマス採捕禁止期間の啓発と遡上調査

ビワマス資源保護のため、10/1~11/30 まではビワマスを捕まえることが禁じられています。その周知啓発のため、プロジェクトの保全区域にのぼり旗を立てました。

10/16~11/30 まで、川の中を確認し、遡上したビワマスはいないか、産卵準備している場所はどこにあるか、密漁の形跡はないか等、細かな調査項目を毎日同じ人が調査します。毎日調査するのは相当な労力です。調査中に会う散歩中の市民と会話をする中でビワマス保全についての啓発を重ね、理解者や協力者も増えたことは喜ばしいことでした。

今回の遡上調査ではトータル 11 尾のビワマスが確認できました。ビワマスは3~5年で産卵期を迎え、鮭と同じで母川回帰本能を持っています。当 PJ が始動して4年。ここで生まれた稚魚が帰ってきてくれたと思うと「ロマン」を感じませんか？

【今後の活動予定】

・稚魚調査 (3月) ここで卵を産んでいたら、3月になれば孵化しているはず。結果が楽しみです。

→新型コロナの影響で例年のビワマスフォーラムは開催できませんが、何らかの形で成果の報告をします。



ごみの資源化プロジェクト

活動 PICKUP

第20回リユース譲渡会を開催しました。

令和2年11月1日(日) 参加者100名
野洲クリーンセンターでリユースの促進を目的に、家具や食器類などの無償譲渡会を開催しました。譲渡数は家具類26点、食器類212点、その他40点、計278点でした。譲渡したものは、次に使用する方に引き継ぎました。譲渡品は、集積所に出ているもの、あるいはクリーンセンターに直接持ち込まれた粗大ごみ(リユース可の意思表示あり)から選んでいます。譲渡は野洲市民に限定しています。



毎月第4土曜日午前10時から12時に廃食油の回収を行っています。

場所：野洲市本庁舎前

家庭からの廃食油の多くは燃えるごみとして排出されているのが現状です。農産物が原料の食用油は、使用後も新たな暮らしに役立つ物にリサイクルできます。物を大切に扱うことがごみの減量につながります。ぜひ、廃食油の回収にご協力ください。ごみの資源化プロジェクトで回収した廃食油は、NPO 碧いびわ湖(近江八幡市安土町)に引き渡しています。そして、廃食油は2種類の石炭に再生され、販売につながっています。



- ①【粉せっけんびわ湖】 洗濯、食器洗いに限らず住居用として換気扇などの汚れにも使える万能せっけんです。
- ②【液体せっけんゆう】 食器洗いにオススメです。

廃食油の回収は、当プロジェクトのほかに、野洲市が市内13か所に回収ボックスを常設しています。最寄りの設置場所は野洲市環境課(077-587-6003)にお問い合わせください。

活動 PICKUP

環境に優しい買い物キャンペーン

ごみを減らそう

プロジェクト

令和2年10月21日(水) 平和堂アルプラザ野洲店

令和2年10月28日(水) 丸善野洲店・魚忠ママセンター

マイバッグ持参運動や食品ロス削減のために市内小売店舗でポケットティッシュや、家庭でできる食品ロス削減対策チラシで市民に呼びかけました。買い物に来た大半の方がマイバッグを持参し、当該取組が浸透していることを実感しました。日本の食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)は年間約643万トンもあり、少しでも食品ロスを減らすために引き続き呼びかけ運動を行っていきます!!



プラスチックごみゼロシンポジウム

令和2年12月24日(木)

プラスチックごみゼロシンポジウムでは、具体的な事例をもとに学ぶ実践的な講演で、とても参考になりました。マイクロプラスチックが魚や貝類の体内にまで見つかっており、私たちはその魚や貝類を口にします。私たちが捨てたごみは、最終私たちに戻ってきます。また、2050年にはプラスチックごみが魚の量を超えると予測されています。ごみは持ち帰り、ごみが落ちていたら拾うことを心掛けていきましょう。



里山を守り育てるプロジェクト

活動 PICKUP 表坂の階段補修

古城山に登る入口「表坂」の階段補修を行いました。秋ごろになると、鮮やかな紅葉を眺望できたり、自然と触れ合いながら里山の保全活動ができます。健康良し！元気良し！笑顔良し！



活動 PICKUP

小堤ヒノキ林間伐

間伐とは、木の成長によって混みすぎた林の立木を一部切り抜くことを言います。間伐をすることで、林内に適度に光が差し込み、下層植生が繁茂します。また木の生育が良くなり、風や雪にも折れにくい強い森林となります。さらに、下層植生が豊かになり、多様な生物の生息を維持できるようになります。山部会では、里山の保全活動として、小堤のヒノキ林の間伐のお手伝いをしています。伐採した木の一部をもらい、表坂の階段にも利用するなど有効活用しています。

これまでのイベント実施日
11/28 菩提寺山紅葉登山
12/06 森づくり塾 里山の材料でかごやリースを作ろう
これまでの保全活動日
9/5、9/12、9/15、9/26、10/3、10/10、10/20、10/24、11/7、11/14、11/17、12/5、12/12、12/15

活動 PICKUP

森づくり塾「里山の材料でかごやリースを作ろう」

令和2年12月6日(日) 参加者14人
子どもから大人までが楽しめるイベントとして、かごとリースづくりイベントを開催しました。新築校の広場で、かごとリースを悩みながら個性的なリースを作っている方が見られました。昼食時には、ロケットストーブや焚火で焼いた石焼き芋を食べ、その後「古城」への階段を登り、高い所から景色を楽しみました。参加者からは、「こんなところがあるなんて今まで知らなかった、また来たい！」と喜んでいただきました。



今後の主なイベント予定 ※新型コロナウイルスの感染状況等により中止する場合があります。

2月18日(木)食品ロス削減寸劇出前講座(ごみを減らそうPJ)
3月6日(土)漁民の森づくり(びわ湖を守ろうPJ)
3月14日(日)樹木管理剪定技術講習会(まちなかの緑づくりPJ)
4月3日(土)春のタムシバ山花登山(里山を守り育てるPJ)
保全活動、美化活動、エコ活動など各プロジェクトで定期的実施しています！

参加希望の方は
事務局までご連絡
ください♪

エコっち・やす会員募集！！

私たちと一緒に、自然豊かな環境の保全、エコな暮らしを実現する街にしていきましょう！ぜひお待ちしております！

年会費
個人：500円
団体：1,000円
事業者：2,000円

- ・会費は「エコっち・やす」を運営するための費用の一部に充てます。
- ・会員のみなさまにはイベントなどの取り組み状況をまとめたニュースレターをお送りします。

お問い合わせは事務局(野洲市役所環境課)まで

TEL 077-587-6003/FAX 077-587-3834/E-mail kanky@city.yasu.lg.jp